



平成31年3月15日  
盛岡地方気象台

## 岩手山の噴火警戒レベルの改定及び判定基準の公表

岩手山を対象とした噴火警戒レベルを改定し、平成31年3月20日14時より運用を開始します。また、併せて、岩手山の噴火警戒レベル判定基準を公表します。

岩手山では、岩手山火山防災協議会における噴火警戒レベルの改定に関する協議の結果、別紙のとおり、各噴火警戒レベルに応じた「警戒が必要な範囲」を設定することになりました。また、噴火警戒レベル2において、東岩手山の水蒸気噴火も想定に加えることにしました。改定した噴火警戒レベルは、平成31年3月20日14時より運用を開始します。

噴火警戒レベルの改定後も、火山活動の状況に特段の変化がなければ、現在発表している噴火警戒レベル（レベル1）や警戒が必要な範囲に変更はありません。

また、岩手山の噴火警戒レベルの判定基準について、最新の科学的知見を反映する等の精査作業が完了したことから、気象庁ホームページで公表します。今後も、火山活動の状況や新たな知見をもとに随時見直しを図っていきます。

### 【噴火警戒レベルの判定基準の公表方法】

気象庁ホームページの「噴火警戒レベルの判定基準」のページ（以下 URL）で公表  
[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki\\_junn.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki_junn.html)

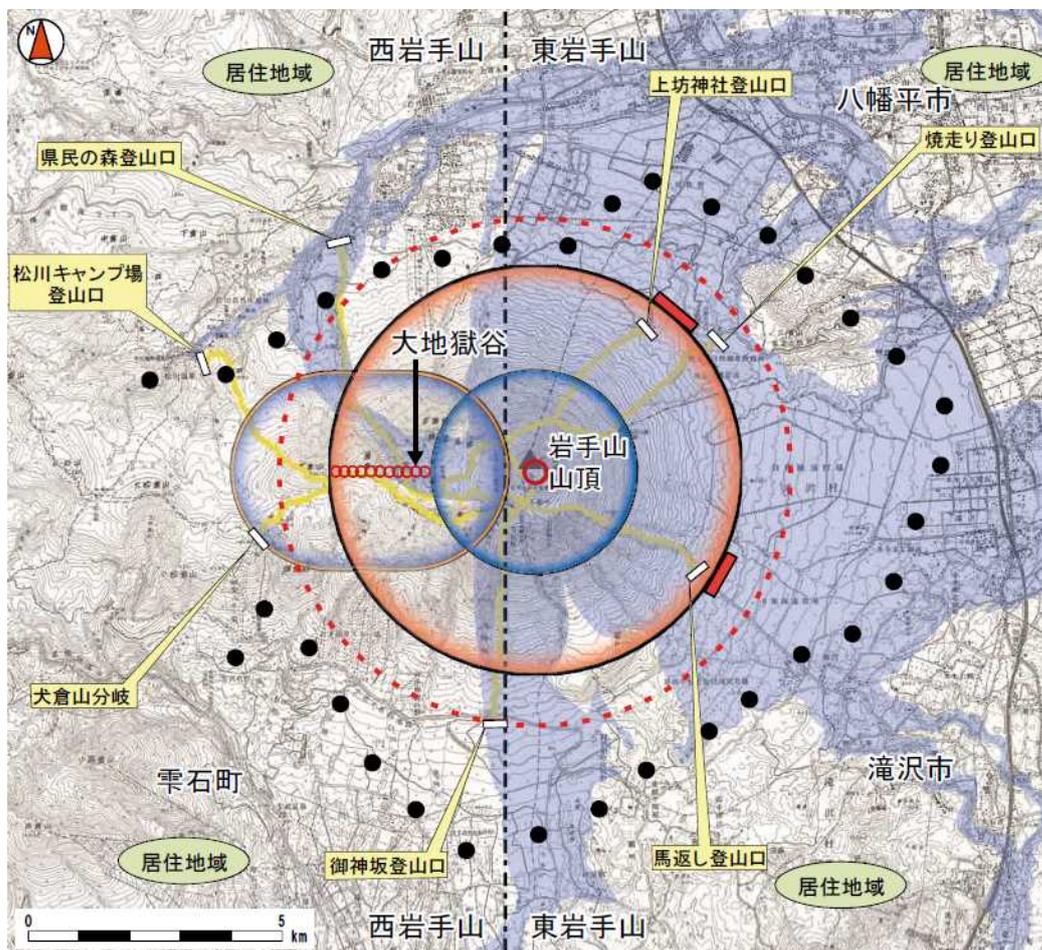
問合せ先：盛岡地方気象台 火山防災官 歳桃(サイトウ)

電話：019 (622) 7870 / FAX：019 (624) 3049

## 岩手山の各噴火警戒レベルに応じた「警戒が必要な範囲」について

噴火警戒レベルの各レベルに応じた「警戒が必要な範囲」を以下のとおり設定します。

改正 レベル	噴火警戒レベルの各レベルに応じた「警戒が必要な範囲」について (平成31年3月20日14時以降)
レベル5	火砕流・火砕サージ：東岩手山の想定火口から概ね5 km 融雪型火山泥流：火山防災マップで想定される影響範囲
レベル4	火砕流・火砕サージ：東岩手山の想定火口から概ね5 km 融雪型火山泥流：火山防災マップで想定される影響範囲
レベル3	大きな噴石：東岩手山の想定火口から概ね4 km 西岩手山の想定火口から概ね2 km
レベル2	大きな噴石：東岩手山及び西岩手山の想定火口から概ね2 km
レベル1	火口内



平成31年3月20日から気象庁ホームページに掲載するリーフレットの一部

## 岩手山の噴火警戒レベル判定基準について

岩手山の噴火警戒レベルの判定基準について、最新の科学的知見を反映する等の精査作業が完了したことから、気象庁ホームページで公表します。なお、今後も火山活動の状況や新たな知見をもとに随時見直しを図っていきます。詳細については、以下の気象庁ホームページをご参照ください。

### 【噴火警戒レベルの判定基準の公表方法】

気象庁ホームページの「噴火警戒レベルの判定基準」のページ（以下 URL）で公表

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki\\_junn.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki_junn.html)

## 岩手山の噴火警戒レベルのリーフレットについて

3月20日に岩手山の噴火警戒レベルのリーフレットを更新します。最新のリーフレットについては、気象庁ホームページをご参照ください。

岩手山の噴火警戒レベルのリーフレットは、以下 URL で公表

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/level/PDF/level\\_207.pdf](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/level/PDF/level_207.pdf)

3月20日以降  
内容更新予定

**岩手山の噴火警戒レベル**  
—火山災害から身を守るために—

●噴火警戒レベルとは、噴火時に危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。  
●各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者などの多くが災害行動が一目で分かるロードマップを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）  
●岩手山の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

**岩手山 噴火警戒レベルに対応した規制範囲**

●噴火警戒レベル1  
●噴火警戒レベル2  
●噴火警戒レベル3  
●噴火警戒レベル4  
●噴火警戒レベル5

●噴火警戒レベル1  
●噴火警戒レベル2  
●噴火警戒レベル3  
●噴火警戒レベル4  
●噴火警戒レベル5

●噴火警戒レベル1  
●噴火警戒レベル2  
●噴火警戒レベル3  
●噴火警戒レベル4  
●噴火警戒レベル5

レベル	名称	対応範囲	火山活動の状態	注意が必要となる火山活動	懸念される現象等
5	特別警報	居住地域及び人口密集地	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、あるいは想定している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火型火山泥流または火砕流、火砕サージが居住地域まで到達、あるいは想定している状態にある。 【状況】 1986年の噴火、東部山頂噴火、駒ヶ岳山頂噴火が原因で北上川まで浸水、湯沢第一本木地区砂防ダム周辺の砂防地帯で一部敷設の崩出、大湯温泉の湯の谷川から山麓(約4km)まで浸水、湯沢温泉から山麓(約4km)まで浸水。
4	警報	居住地域	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 【状況】 1932年の噴火、東部山頂噴火、駒ヶ岳山頂噴火が原因で北上川まで浸水、湯沢第一本木地区砂防ダム周辺の砂防地帯で一部敷設の崩出、大湯温泉の湯の谷川から山麓(約4km)まで浸水。	●噴火型火山泥流または火砕流、火砕サージが居住地域まで到達する可能性がある。 【状況】 1932年の噴火、東部山頂噴火、駒ヶ岳山頂噴火が原因で北上川まで浸水、湯沢第一本木地区砂防ダム周辺の砂防地帯で一部敷設の崩出、大湯温泉の湯の谷川から山麓(約4km)まで浸水。
3	注意警報	火口周辺	居住地域の近くまで重大な被害を及ぼす可能性のある噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。	火口から居住地域近くまで重大な被害を及ぼす可能性のある噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。	●東部山頂の火口から居住地域近くまで重大な被害を及ぼす可能性のある噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。
2	注意警報	火口周辺	火口周辺に被害を及ぼす可能性のある噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。	火口周辺への立入規制、居住地域への立入規制。 【状況】 1986年の噴火、4月29日、噴火時に多数の地震と、短期間で火口が閉鎖し、地殻変動が急激な変化。	●東部山頂及び西側山頂の火口から居住地域近くまで重大な被害を及ぼす可能性のある噴火が発生する可能性がある（可能性が高まっている）。
1	注意警報	火口周辺	火山活動は静穏。	状況に応じて火口への立入規制等。 【状況】 1919年の噴火、西側山頂噴火、大湯温泉の湯の谷川から山麓(約4km)まで浸水、湯沢温泉から山麓(約4km)まで浸水。	●火口内で少量の噴火や火山ガス発生

（3月20日に掲載するリーフレット：左=表面、右=裏面）